

遺伝子改変動物を用いた中期発がん性試験の評価状況

(2021年度第2回発がん性評価ワーキンググループまで)

実施年度	物質名	試験結果	評価結果	選定理由			
令和2 2020	4- (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル) フェノール	雄p53K0マウス	発がん性を示す証拠は得られなかった。 (no evidence of carcinogenic activity)	陽性	肝臓への標的性がなく、他の臓器への標的性が疑われる化学物質（肝中期発がん性試験において、多臓器への標的性が疑われる化学物質）		
		雌p53K0マウス	発がん性を示す証拠は得られなかった。 (no evidence of carcinogenic activity)				
		雄rasH2マウス	発がん性を示す証拠が得られた (some evidence of carcinogenic activity)				
		雌rasH2マウス	発がん性を示す証拠は得られなかった (no evidence of carcinogenic activity)				
	二酸化窒素	雄p53K0マウス	発がん性を示す不確実な証拠が得られた。 (equivocal evidence of carcinogenic activity)			陽性	経口ばく露による調査が不能なガス状の化学物質（気体として、労働環境にあり、吸入ばく露による発がん性を評価すべき化学物質）
		雌p53K0マウス	発がん性を示す証拠は得られなかった。 (no evidence of carcinogenic activity)				
		雄rasH2マウス	発がん性を示す不確実な証拠が得られた。 (equivocal evidence of carcinogenic activity)				
		雌rasH2マウス	発がん性を示す証拠は得られなかった。 (no evidence of carcinogenic activity)				
令和3 2021	1, 3, 5-トリリス (2, 3-エポキシプロピル) ヘキサヒドロ-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6-トリオン	雄p53K0マウス	発がん性を示す明らかな証拠が得られた。 (clear evidence of carcinogenic activity)	陽性	肝臓への標的性がなく、他の臓器への標的性が疑われる化学物質（肝中期発がん性試験において、多臓器への標的性が疑われる化学物質）		
		雌p53K0マウス	発がん性を示す明らかな証拠が得られた。 (clear evidence of carcinogenic activity)				
		雄rasH2マウス	発がん性を示す明らかな証拠が得られた。 (clear evidence of carcinogenic activity)				
		雌rasH2マウス	発がん性を示す明らかな証拠が得られた。 (clear evidence of carcinogenic activity)				
	クロロエタン	雄p53K0マウス	発がん性を示す証拠は得られなかった。 (no evidence of carcinogenic activity)	陽性	経口ばく露による調査が不能なガス状の化学物質（気体として、労働環境にあり、吸入ばく露による発がん性を評価すべき化学物質）		
		雌p53K0マウス	発がん性を示す証拠は得られなかった。 (no evidence of carcinogenic activity)				
		雄rasH2マウス	発がん性を示す明らかな証拠が得られた。 (clear evidence of carcinogenic activity)				
		雌rasH2マウス	発がん性を示す不確実な証拠が得られた。 (equivocal evidence of carcinogenic activity)				